



特集

for the future children of Africa

アフリカの未来の子どもたちのために





アフリカは全54カ国から構成され、「21世紀最大のフロンティア」とも呼ばれる可能性と未来に溢れる大陸。2022年は、豊田通商がアフリカで事業をスタートしてからちょうど100年目、豊田通商グループであり、アフリカで確固たるプレゼンスを持つ最大規模の商社CFAOがアフリカで事業をスタートしてから170年目。さらに豊田通商とCFAOが統合してから10年目に当たる節目の年でもあります。2022年8月にチュニジアで開催された第8回アフリカ国際会議（以下、TICAD8）を機にさらに加速させていく豊田通商グループのアフリカにおける取り組みとその歩みについて紹介します。

豊田通商にとってのアフリカ事業の位置付けと概要

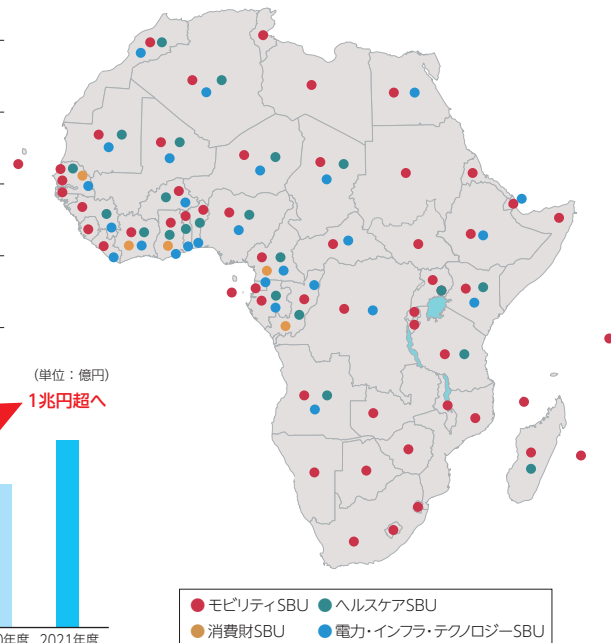
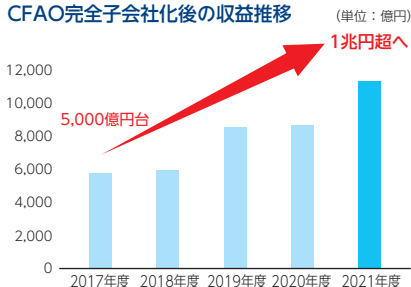
豊田通商グループにとってアフリカ事業は、社会課題の中でも優先的に取り組むべきサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）のひとつであると同時に、中期経営計画達成に向けた成長戦略のひとつです。

豊田通商グループのアフリカ事業における理念として「WITH AFRICA FOR AFRICA」を掲げモビリティ、ヘルスケア、消費財、電力・インフラ・テクノロジーの4分野を主な事業領域としています。現在はアフリカ全54カ国で、155社のグループ会社、連結従業員約65,000名の内、3分の1超の約22,000名の従業員が、現地・現物・現実の姿勢で事業を推進しています。事業規模は、アフリカ本部を設立した2017年度の収益は5,000億円台から始まりましたが、現在は1兆円を達成し、更なる拡大を目指しています。

豊田通商におけるアフリカ事業

 展開国	54カ国
 グループ企業数	155社
 従業員数	約22,000名
 収益	1兆1,333億円 (2022年3月期)

CFAO完全子会社化後の収益推移



TICADとは

Tokyo International Conference on African Development（アフリカ開発会議）の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議。1993年以来、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行及びアフリカ連合委員会（AUC）と共同で開催しています。2022年8月27日及び28日にはチュニジアでTICAD 8が開催され、豊田通商グループも参加しました。

TICAD8において25件のMOU締結～事業を通じた社会課題の解決と経済発展への貢献を加速～

豊田通商グループはTICAD 8で“for the future children of Africa（アフリカの未来の子供たちのために）”をキーメッセージとして掲げ、「産業変革」「グリーンエコノミー」「グローバルヘルス」「人財開発」を重点テーマに注力していくことを表明しました。TICAD 8において、アフリカ主要各国の政府、民間企業および国連機関とこの4つのテーマに沿ったMOU（覚書）を25件締結し、社会課題の解決にとどまらない、未来を見据えた価値創造事業の推進に取り組んでいきます。今回締結したMOUの具体化を図り、事業を通じて現地の社会課題解決と経済発展への貢献を加速していきます。

産業変革

次世代のために明るく活力に満ちた未来を創造

締結した
MOU数

10件

グリーンエコノミー

よりグリーンな経済成長で持続可能な社会の実現に貢献

6件

グローバルヘルス

アフリカの人々に健康と笑顔を届ける

3件

人財開発

アフリカの未来を担う人財の育成

4件

包括的MOU 2件

計25件



TICAD 8のMOU締結内容の詳細はこちらプレスリリースをご覧ください



for the future children of Africa

豊田通商グループはアフリカのニーズに寄り添うリーディングカンパニーの道を進み続けます。[WITH AFRICA FOR AFRICA]の理念の下、アフリカの子供たちの輝く未来のために、現地の社会課題解決と経済発展に貢献します。豊田通商グループはアフリカと共に挑戦し、未来を見据えた価値創造事業の推進に取り組むことで、成長し続けます。

